

もしもヤクザが
1人エッチしている所を
見られたら。



やいば 刃

男好きを除いては、ごく普通のサラリーマン。祖父がヤクザの親分だが、その事実は知らされていない。

ある日洗濯物を干している最中「竜牙」の頭の上に「刃」間違っ
て自分のパンツを落とす。家に襲撃され、

なんとかこの場を乗り切りたいと睡眠薬入りのお茶を出し、眠ったところを見計らって警察に通報しようと思っただが、間違っ
て隠し持っていた勃起薬をお茶に混ぜてしま
い、結果的にみだれた「竜牙」を見て興奮してしま
い、犯してしまう。

りゅうが 竜牙

剣崎組に属するヤクザ。ある日自分の頭の上に男物のパンツが落ちてきた事から、持ち主である「刃」の家へ襲撃。そこで「刃」が間違えて盛ってしまった勃起薬入りのお茶を飲み、あられもない姿を見られてしまった「刃」に犯されてしまう。

結果「刃」の祖父にあたる人が、自分の組の親分だと分かり、親分の言いつけにより、「刃」のボディガードを命じられ、「刃」と同棲するはめになってしまう。

まさる 将

「竜牙」の舎弟であり、剣先組のヤクザの一人。「竜牙」を慕っており、同棲している「刃」に何故か異常なまでの憎しみを抱いている。

がりゅう 臥竜

剣崎組の若頭。「刃」が親分の孫だという事実を知っている一人。「刃」に近づこうとする「将」を監視している。常に冷静で無表情。その素性は未だに謎に包まれた人物。







大丈夫
ですよ

いつもの事
なんで

ありがとうございます
でも



し心配なんか
してねえし
パーロー

コナンくんですか？

珍しいですね
俺の事心配して
くれるなんて



そう...
俺はヤクザだ

その俺が

どうして
カタギの人間と
一緒に暮らす
ようになったのか
それは...

俺の頭の上に
男物のパンツが
落ちてきた事から
始まる



体が動けなくなった
俺はあろうことか
そいつに犯される
はめに

だが
そこで
薬を盛られた
茶を飲んでしまい

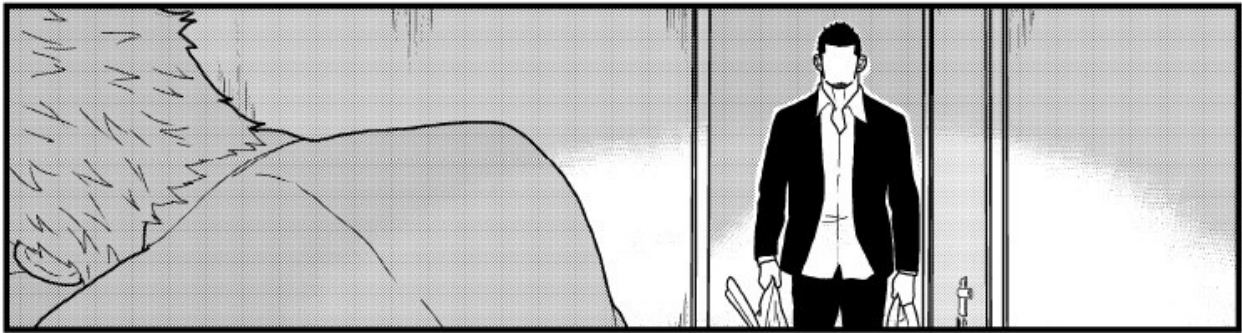
組での立場に
イラつきながら
歩いていた俺は

突然
降ってきたパンツに
激怒し
落とした男の部屋に
襲撃する



自分の孫に
素性を隠している親分に
ボディーガードを
命じられ
俺はそいつと同棲する事
になった

結果
そいつのジジイに
あたる人が
俺の組の親分だと
分かり

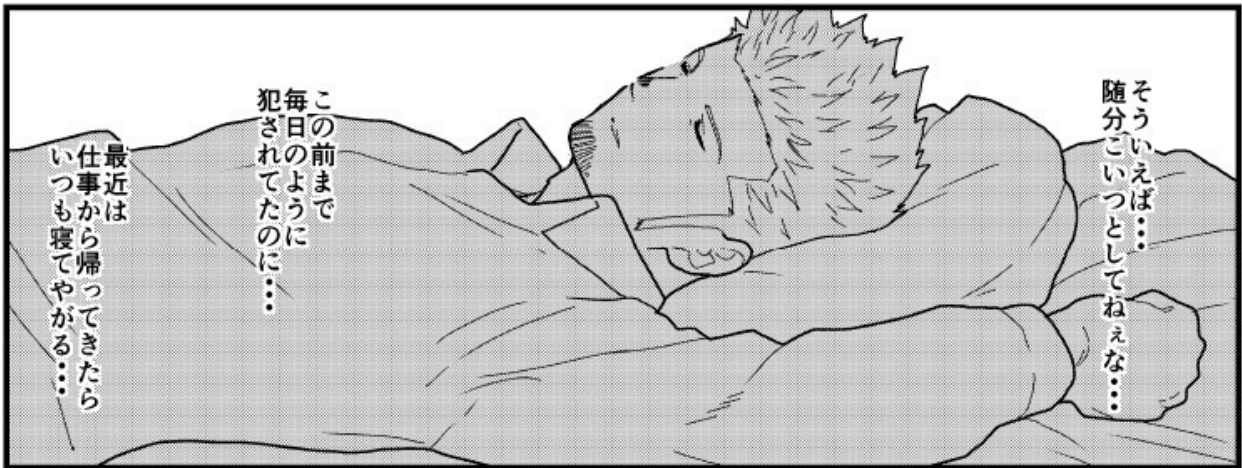
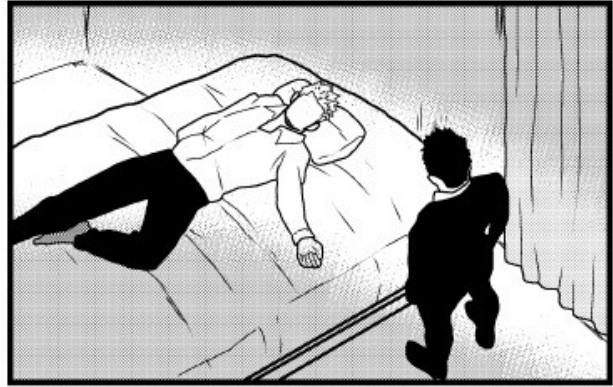


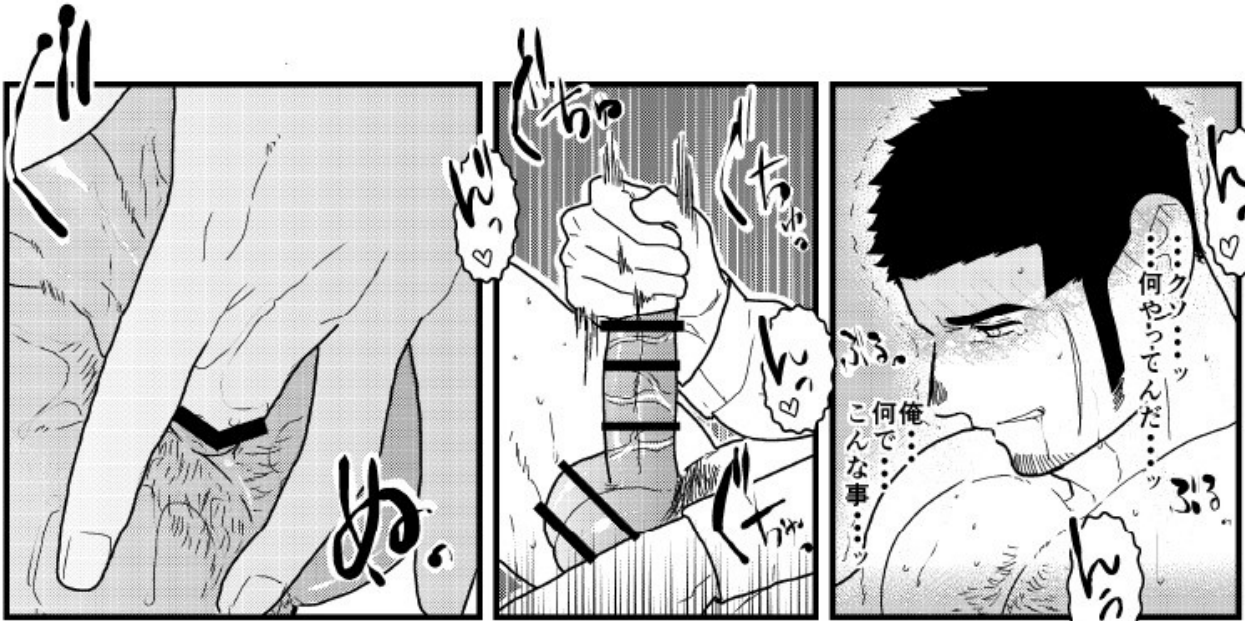


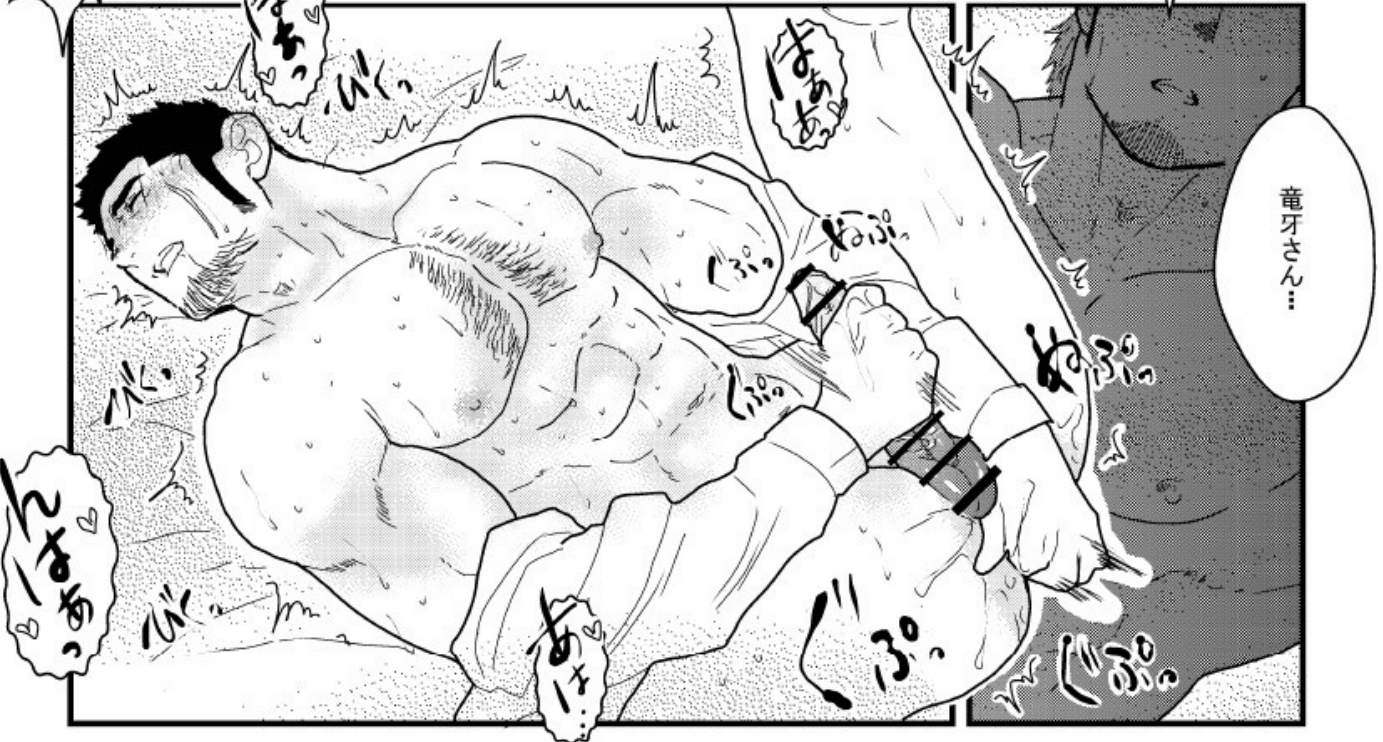
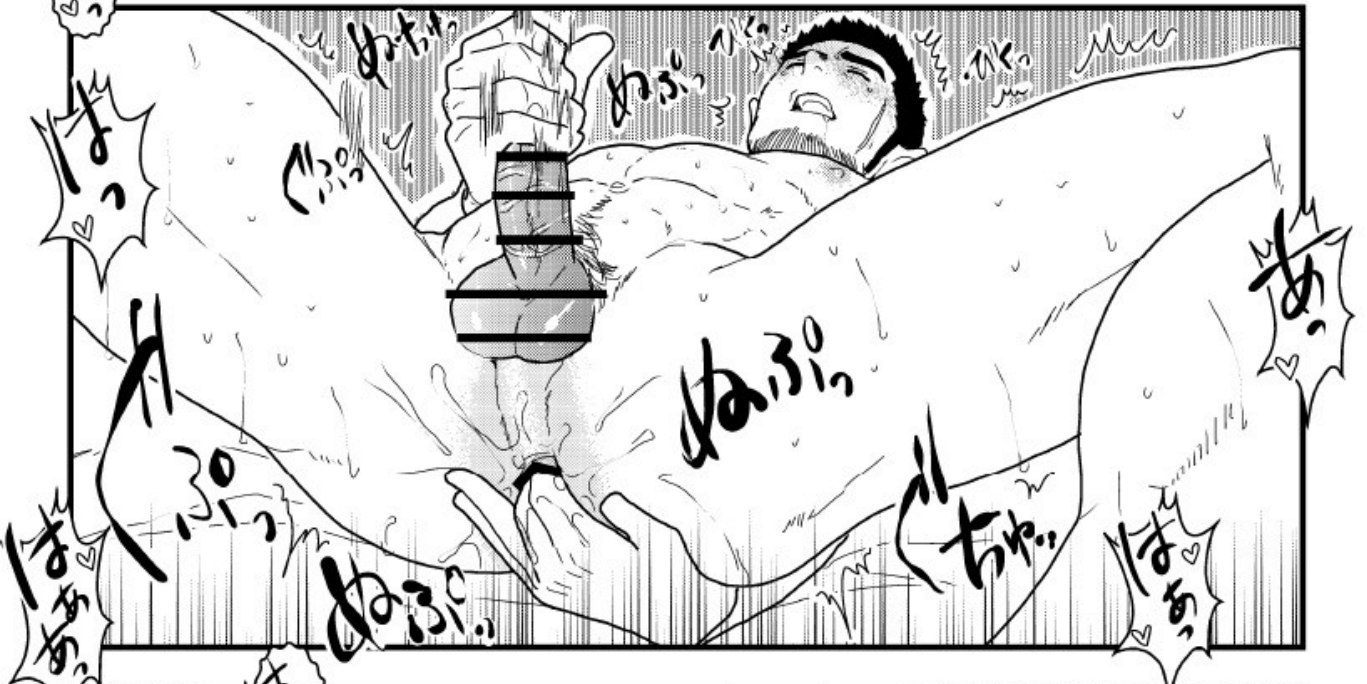
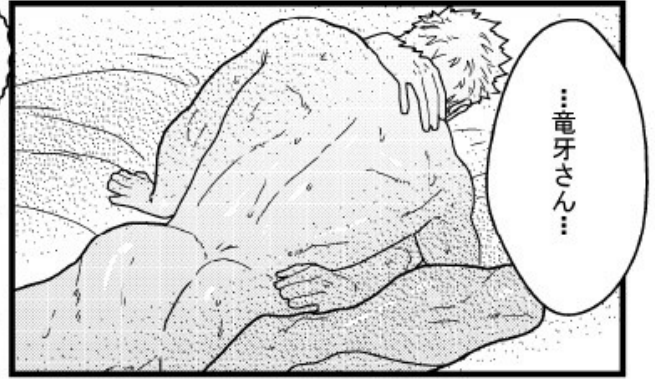
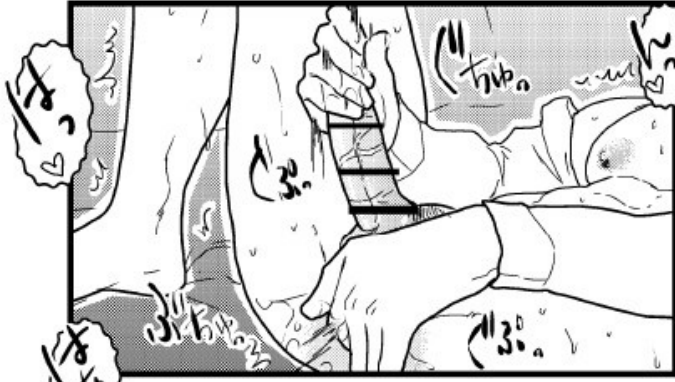
おきろ
タコ

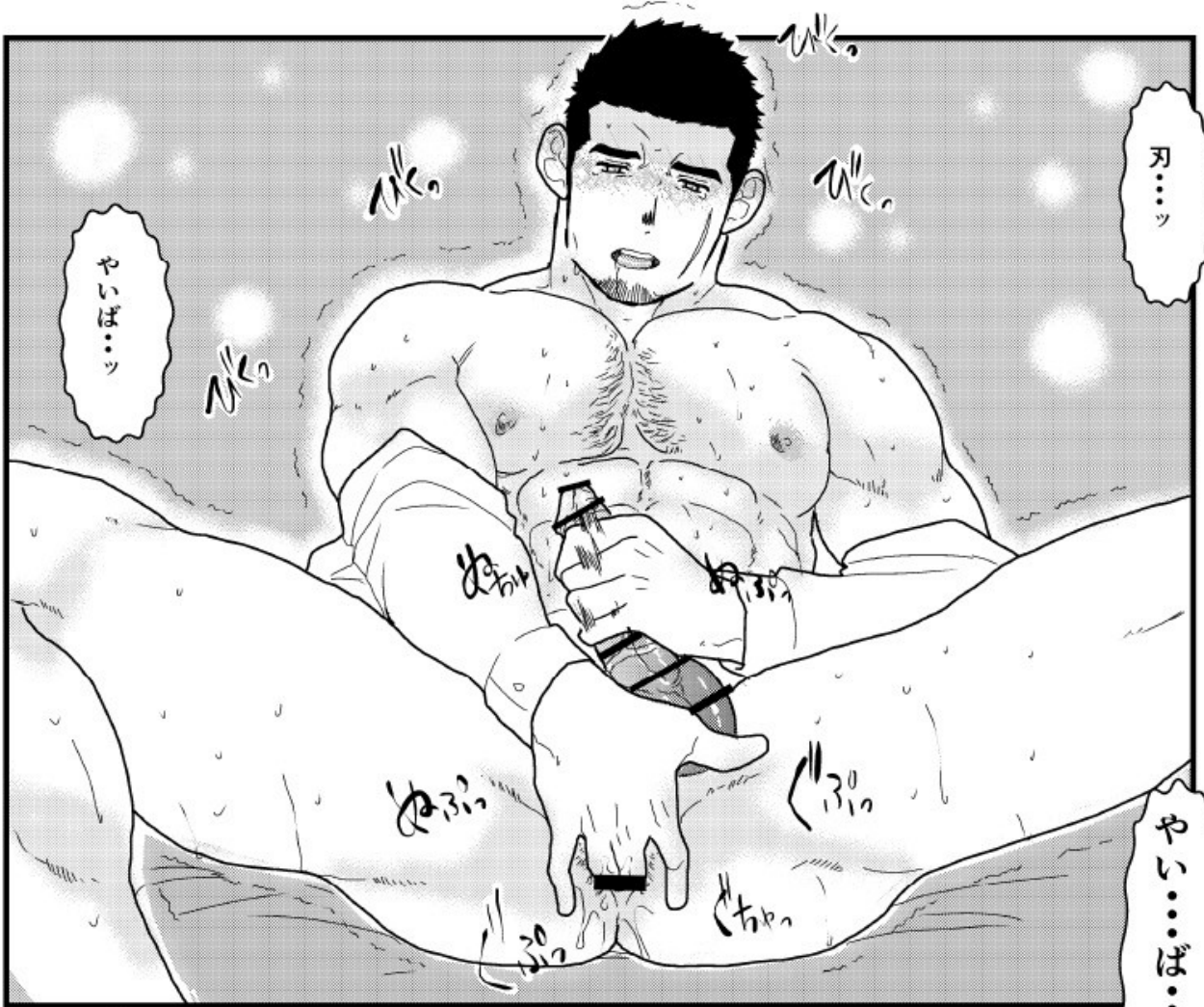
こんなところで
寝てんじゃねえ











刃...ッ

やっぱ...ッ

やっぱ...ば...あッ



...何やってるんですか
竜牙さん

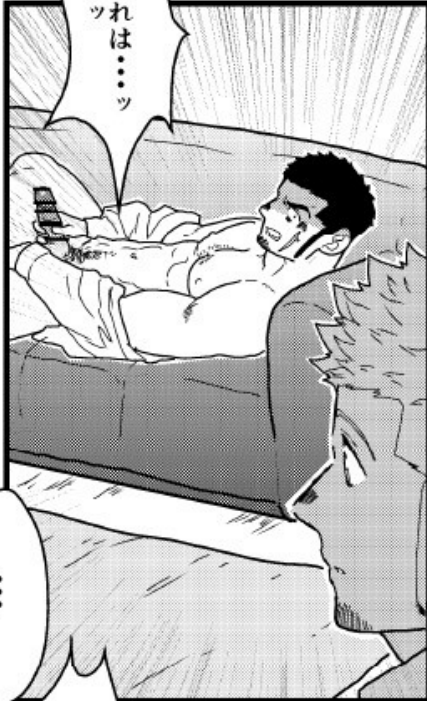
!!!



イクウ...ッ

い...ッ

ここ…これは…
その…ツ



…や…
刃…ツ

…

つーかテメエ!!
寝てたんじゃ
なかったのかよ!!

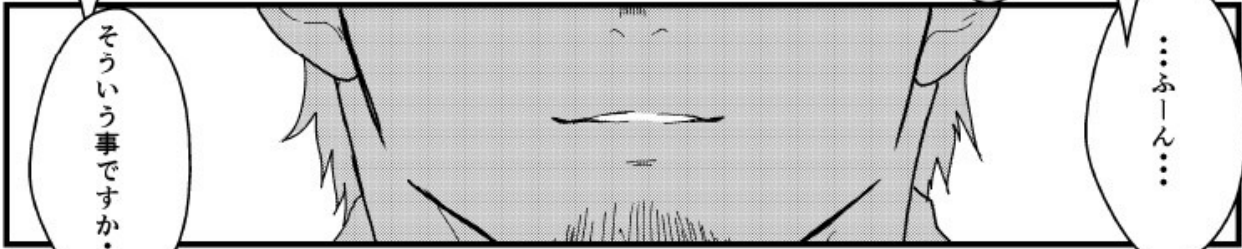
…自が
覚めたから…

何で
起きてんだよ!
寝てろよ
ハゲ!!!



…ふーん…

そういう事ですか…



俺が寝ている
間に…

一人で抜け駆け
しようとしてた
って事ですね…

…ツ!!

ダメじゃないですか
竜牙さん…

俺がいない
隙に…

いかがわしい事
しちゃ…







結局縛るしか
なくなっちゃうじや
ないですか...

ったく...
いつものごとく
暴れるから



く...そ...ッ

離せ...ッ
バカやろ...ッ



だからって...ッ

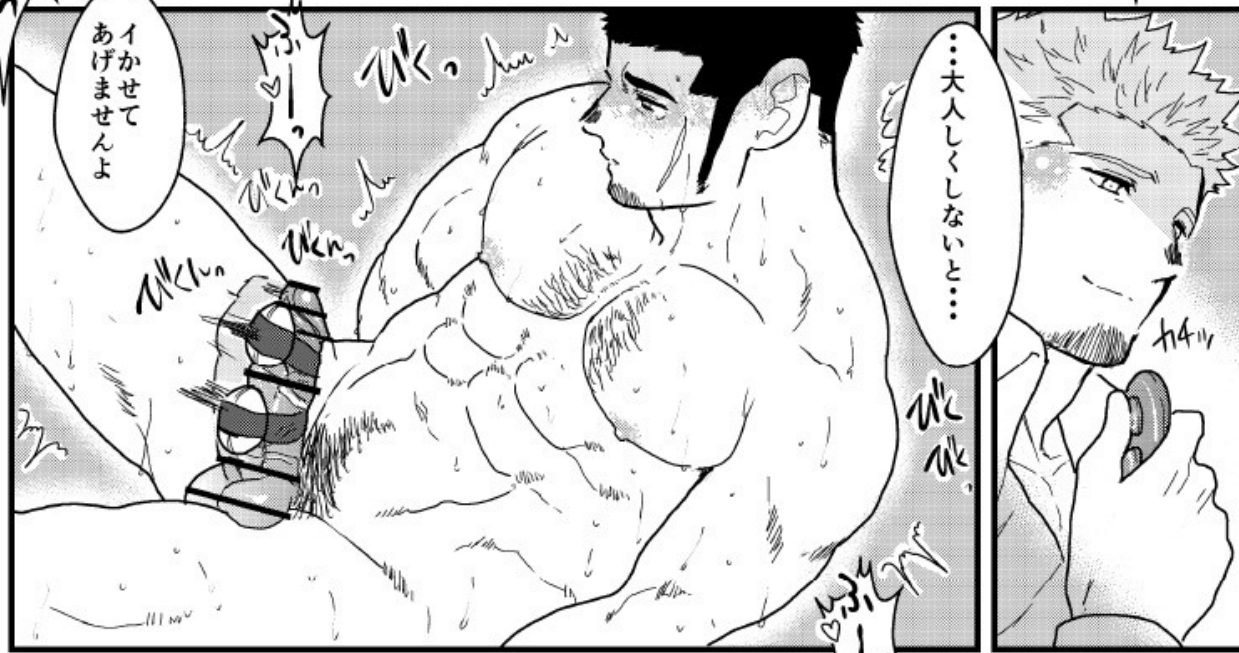
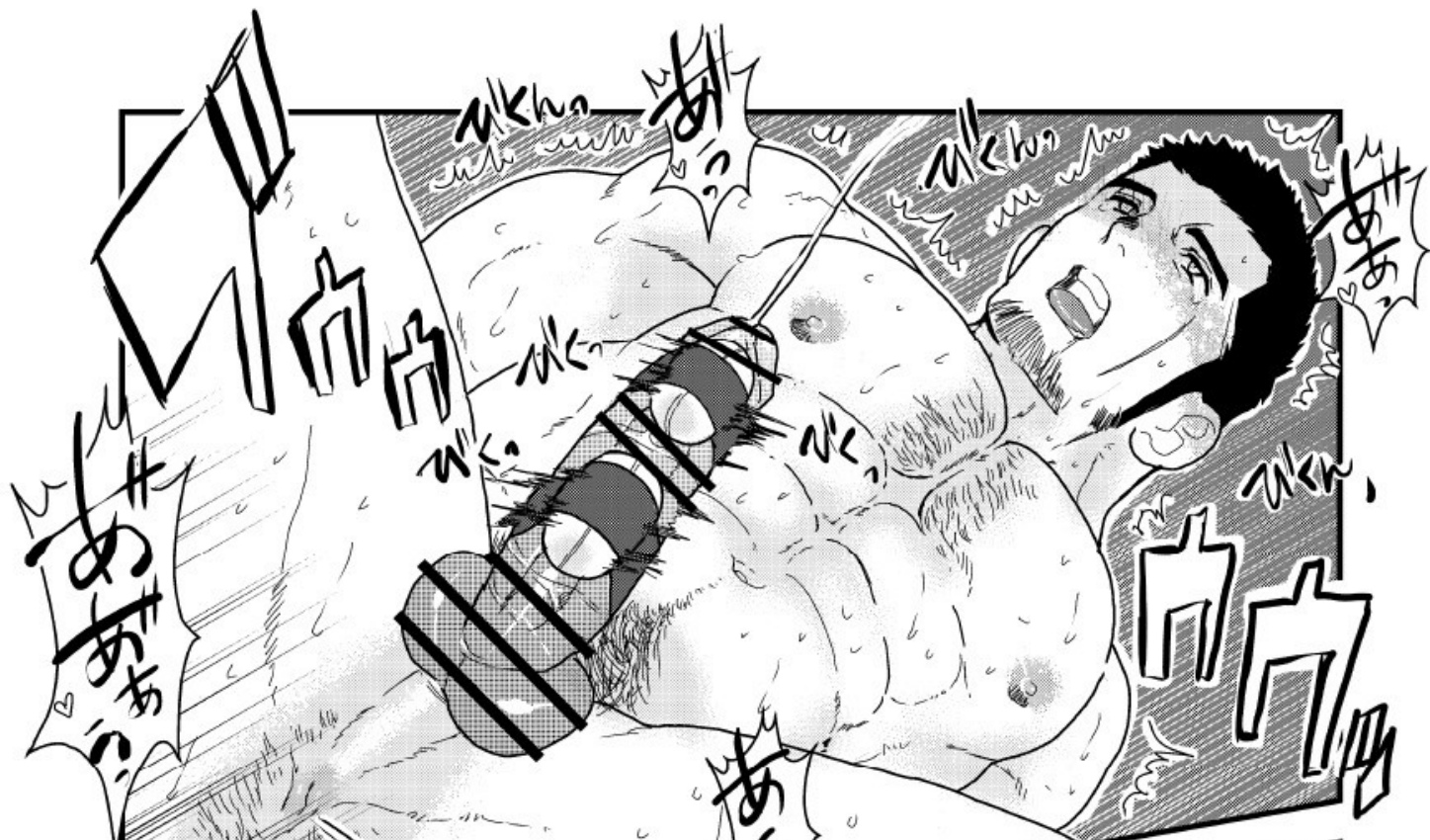
何でこんなモンまで
くつつけんだよ...ッ



...あんまり
動くと

手が
傷ついたら
まずよ





イかせてあげませんよ

…大人しくしないと…



...



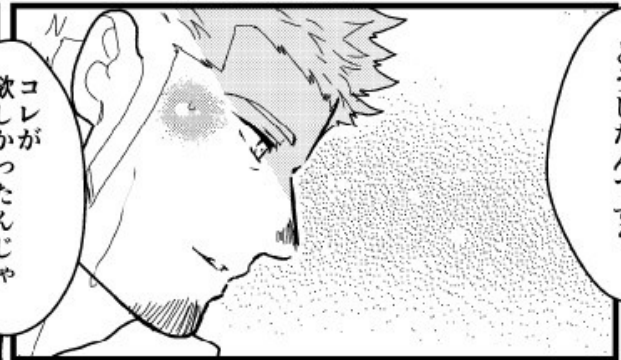
俺のも...
気持ち良く
してください



竜牙さんだけ
気持ち良くなるのは
ずるいです



...

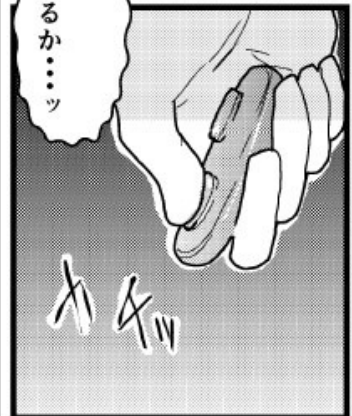


どうしたんです？

コレが
欲しかったんじゃ
ないんですか？



...そんなモン...ツ



誰が
欲しがるか...ツ



俺のも
気持ち良く
してください……

なら……

……気持ち良く
いきたいんでしょう？

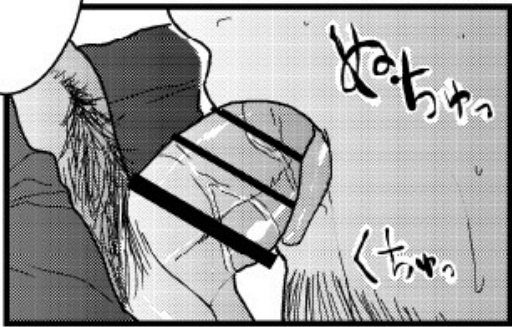


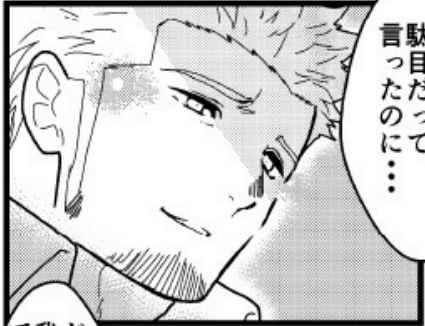
竜牙さん……

随分
上手くなりました
よね……



もうすっかり
男の味……
覚えちゃったのかな





離しちゃ
駄目だ
って
のに...



どうして
我慢
出来ない
んですか?



んあぁん

ん



んあぁん



...ヤッ

やめ...ッ

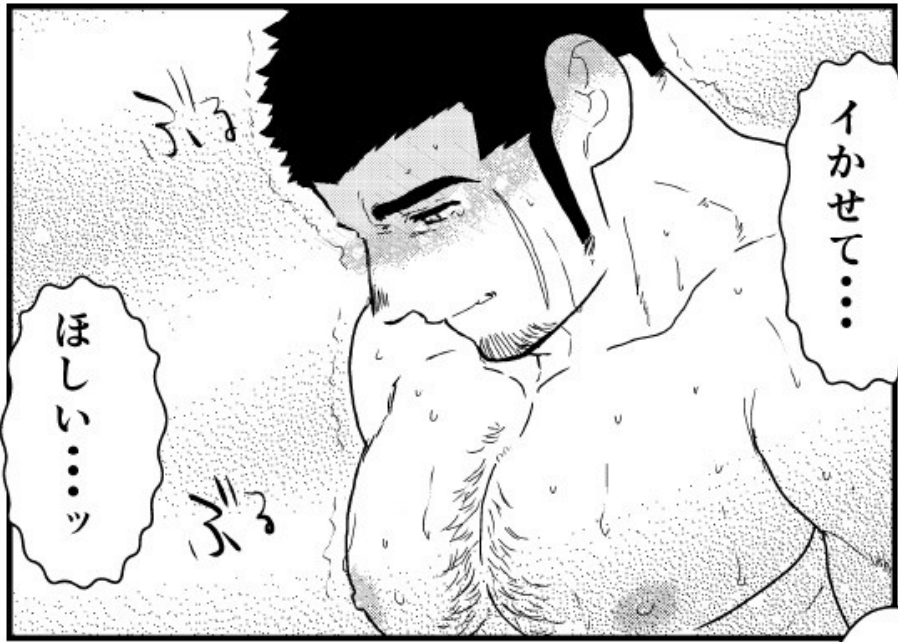


...そんな
いけない
子には...









我慢出来なかったから……ッ

刃に……
抱いて欲しくて……ッ

ふっ

ふっ

ひく

ひく

ひく

ふっ

ごめんなさい
竜牙さん……

竜牙さんの気持ちに
気づいて
あげられなくて



じゃあもう一つ……
手を解く代わりに……

竜牙さんに

頼んでも
いいですか……？

俺が欲しいって

言って欲しい



…俺からのお願いです

…聞いて貰えますか？

…ッ

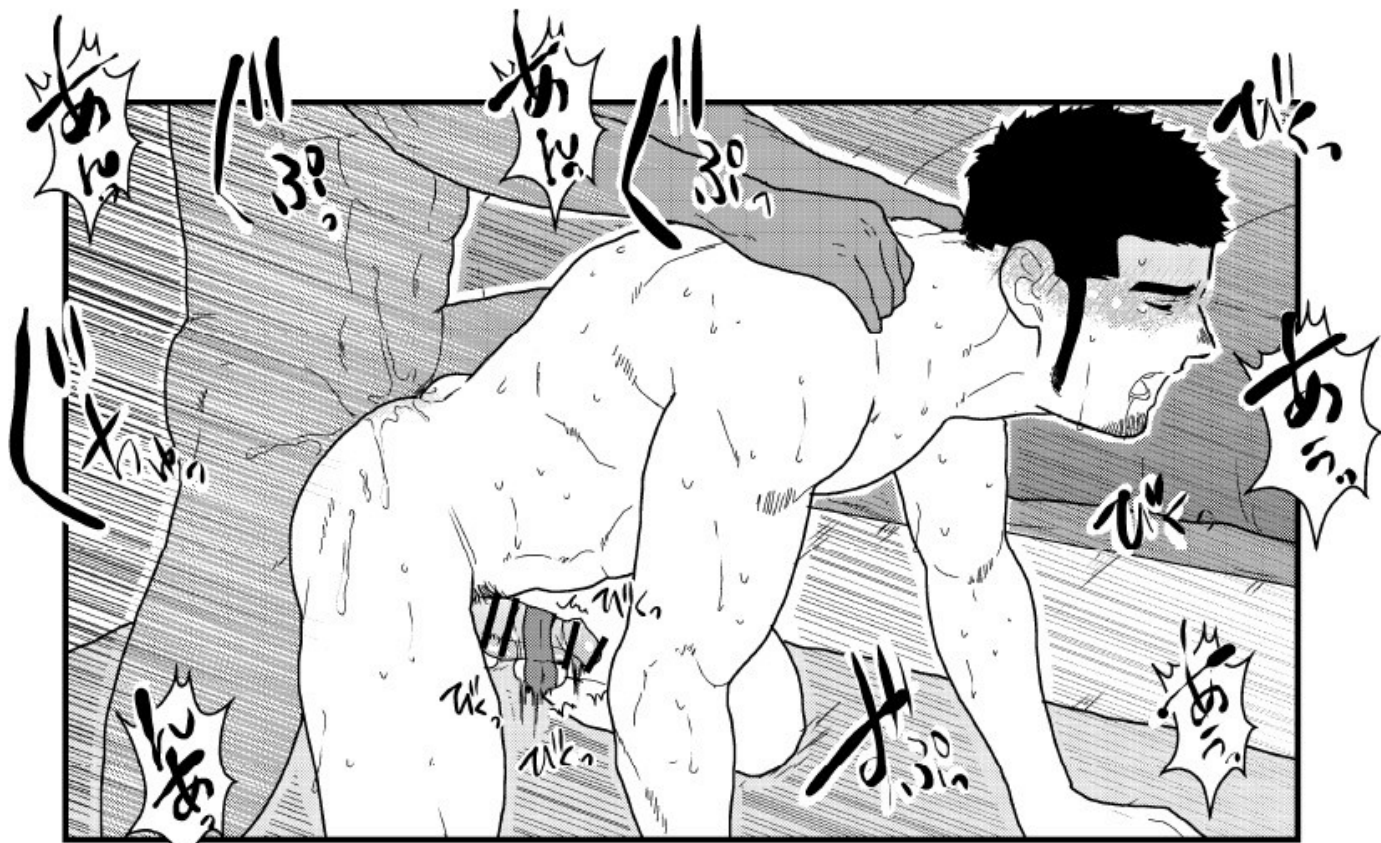


お願い…だ…

俺の…
コユに…

刃が
欲しい…ッ







じゃあ我慢してください...

俺が出すまで...

もう少しの辛抱だから...

俺も...
すぐイっちゃい
そうだから...



凄い…
久しぶりだから…ッ

竜牙さんのココ…
よく
締まってる…ッ

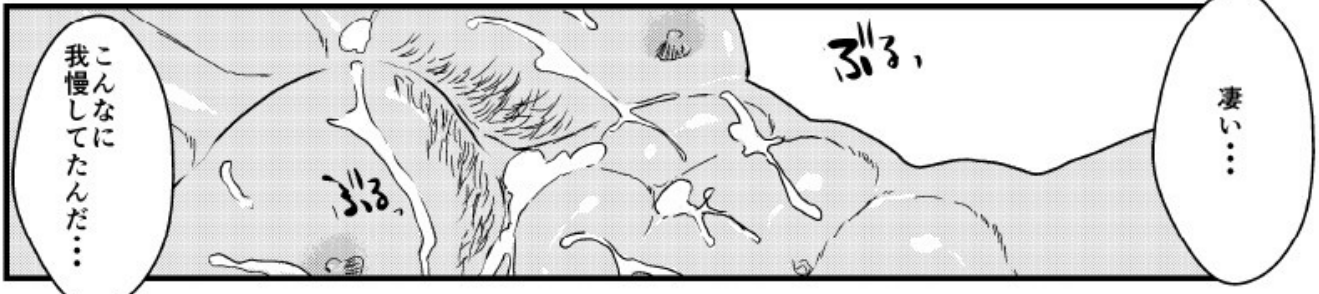
ごめん…ッ
もっとしたいのに…ッ

俺…
もう…
出ちやいそ…ッ



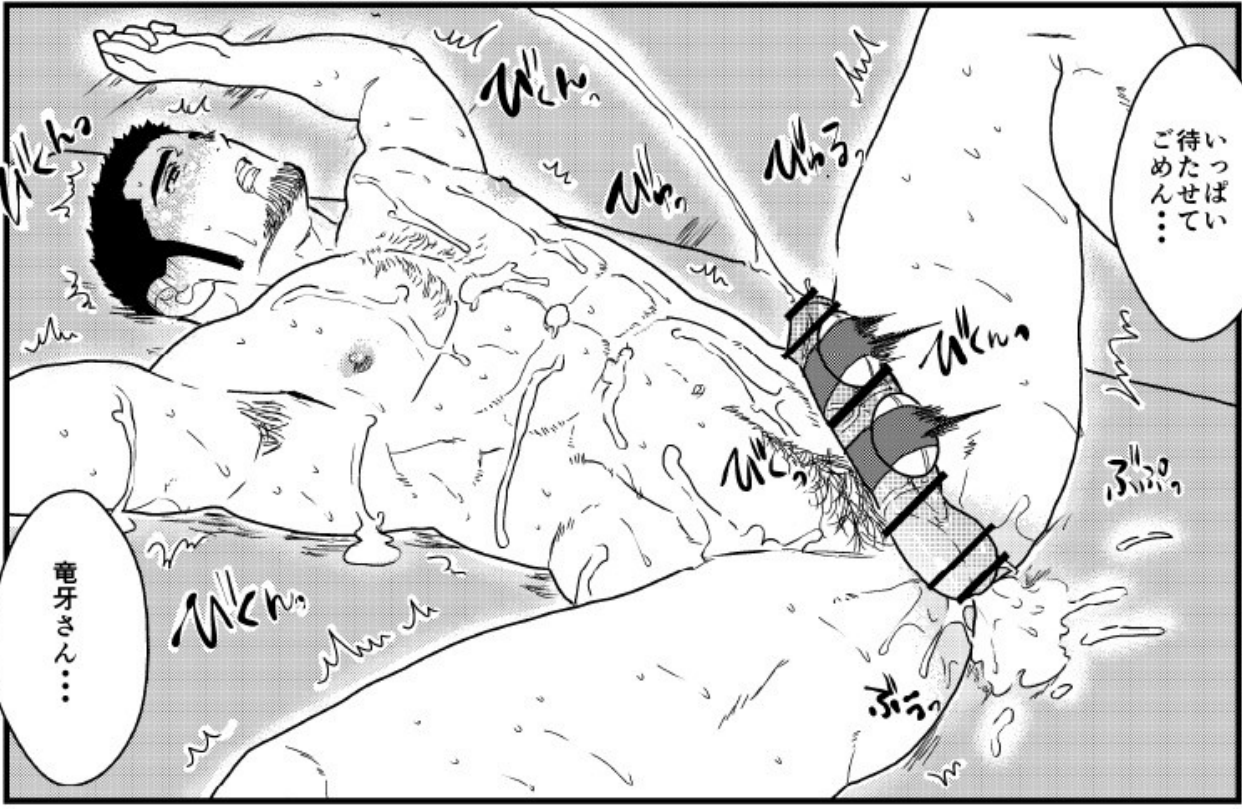






こんなに我慢してたんだ...

凄...



いっせいで待たせてごめん...

竜牙さん...



...分かってる



ふ...ぎげんな...ッ

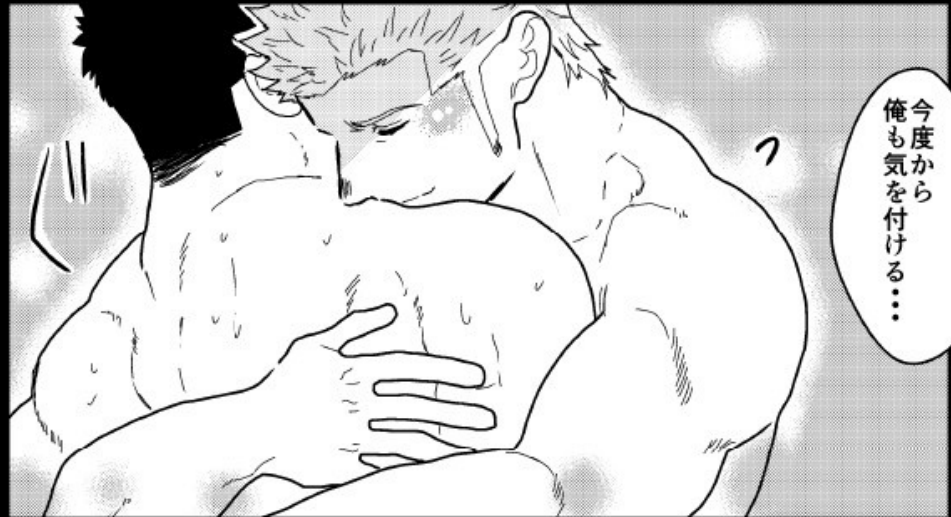


...何が...ッ

待たせてごめん...だ...ッ



こんなに
我慢させない
様に……



今度から
俺も気を付ける……



そうだ
晩御飯

……



沢山食べましたね……



じゃあ
今から食べに
行きましょう！

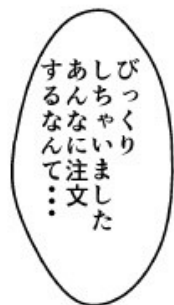
おごりますよ
待たせたお礼に♡

首へし折るぞ……ッ



テメエ……ッ
この状態で俺に
晩飯作らせる気か……ッ

……無理ですよ
流石に



びっくり
しちゃいました
あんなに注文
するなんて……







今兄貴と
一緒に
暮らしてる男…

兄貴

…あ?

組長の孫…

ですよね…?!



…
ツ



こいつは
兄貴と一緒に
いるべきじゃねえ

兄貴…

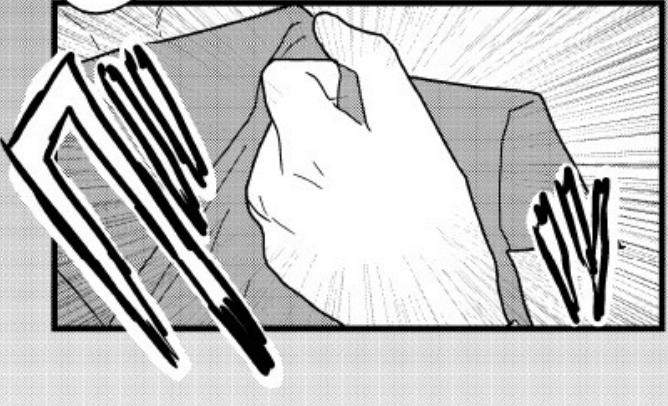
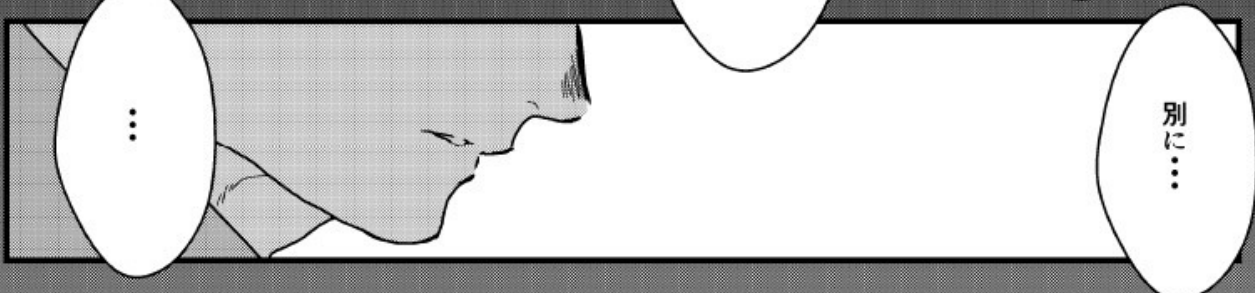
今すぐ離れて下さい

…お前…
調べたのか

…もし
どうしても
離れないなら

…



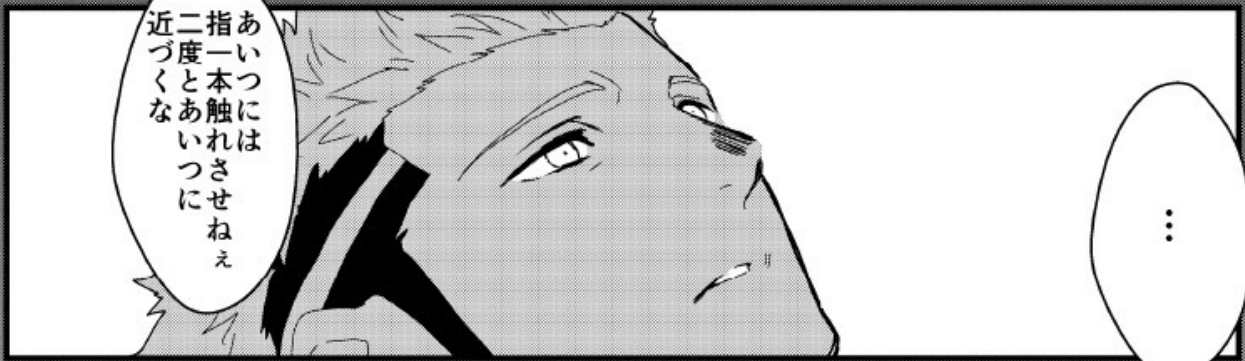




俺がお前を
殺してやる

いいか

お前が
あいつを
殺すなら



あいつには
指一本触れさせねえ
二度とあいつに
近づくな

...

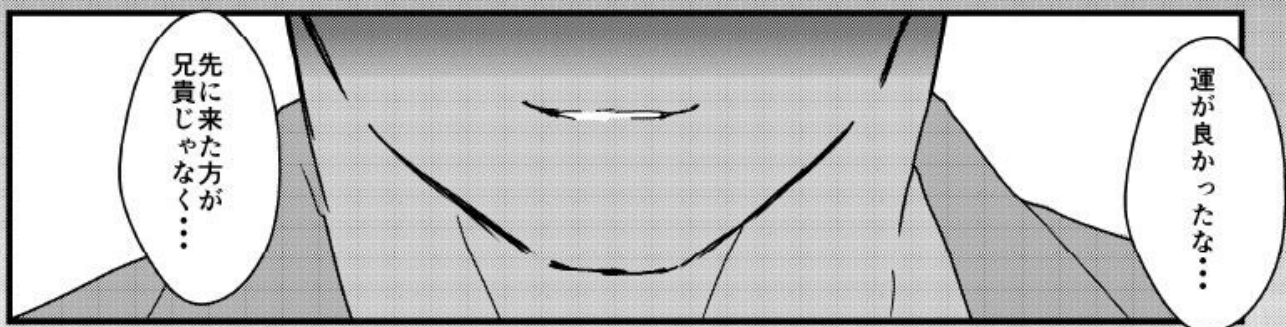


俺がつけた傷...

兄貴は
あの頃とちっとも
変わってないですね...

俺は...
あの日から...

その顔の傷を
作ったあの日から...





もし
お前だったら...

...

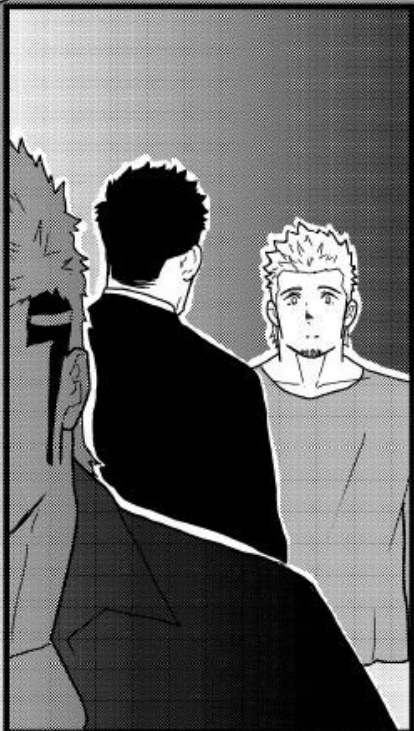


テメエ...

大丈夫ですよ
兄貴

俺も今は
手が出せねえ
状態なんです

だから...



今は...

あの子……
龍牙さんの
舎弟の……

……お前は何も
知らなくていい

……お前は今まで通り

……何を……
話してたんですか……？

何を聞いても
信じるんじやねえ

お前のままで
いろ

龍牙……さん……？

俺だけを
信じる

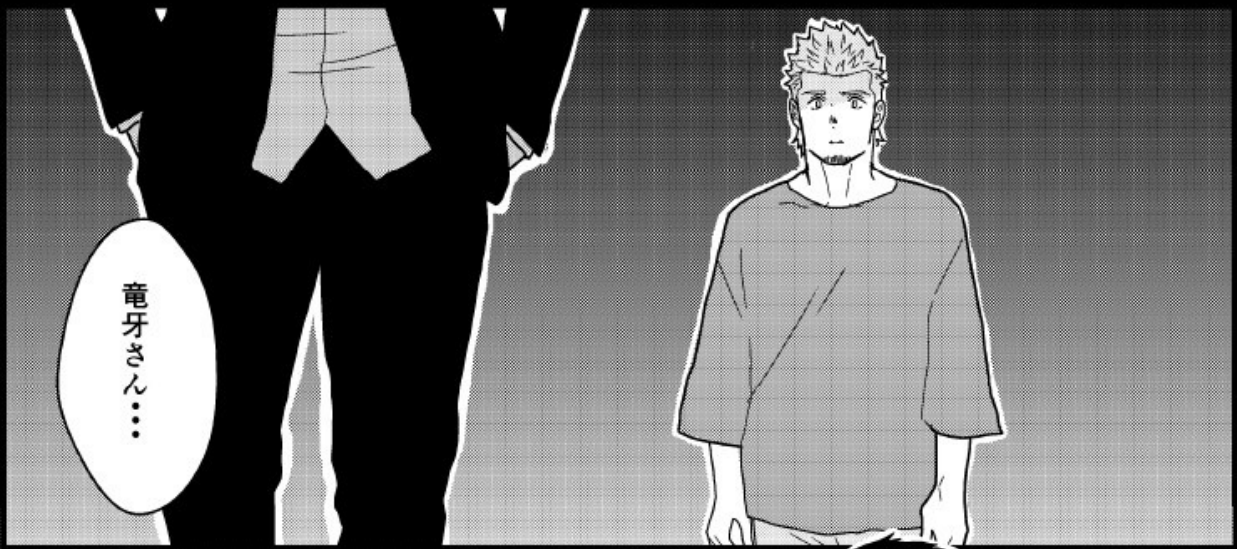
絶対に
俺の傍から
離れるな

お前の事は

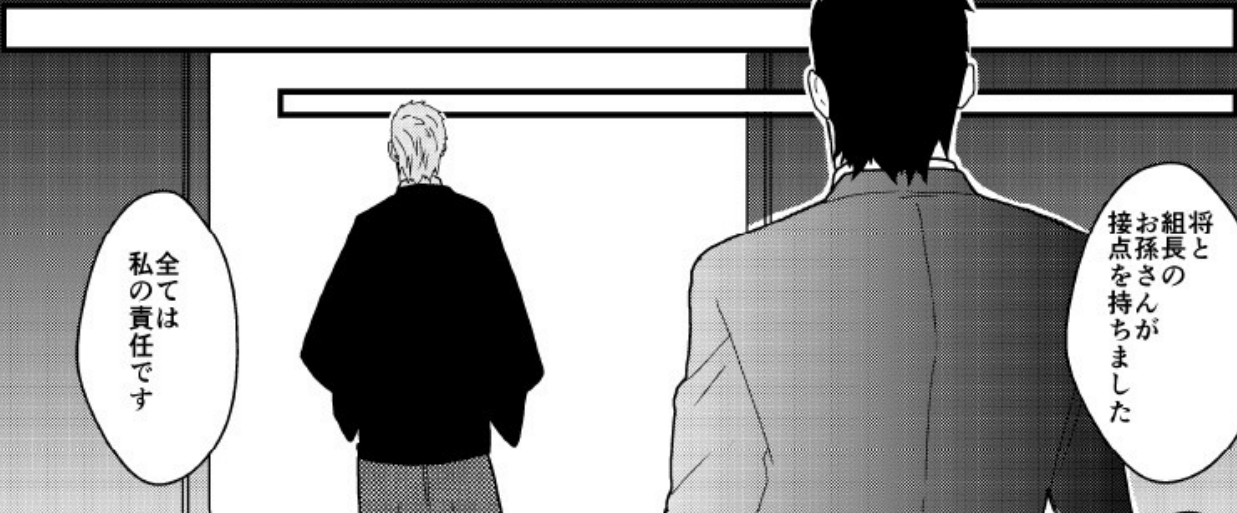
俺が守る



いいな……



竜牙さん……



将と組長の
お孫さんが
接点を持ちました

全ては
私の責任です



将には
これ以上
近づかせない様に

こちらで
監視役を
つけさせて
います



もし
刃に何かあったら……

……くれぐれも
気をつけろ



お前の命をとる事
なるぞ



臥竜……